

令和3年度 第1回千歳市景観審議会 会議概要

日 時：令和3年6月24日（木）15:00～16:00

場 所：千歳市議会棟大会議室

出席者：（委員出席者）小林委員（会長）、廣島委員（副会長）、瓜生委員、山口委員、安田委員、伊藤委員、斉藤委員、曙委員、村中委員、矢部委員

（委員欠席者）中井委員、南雲委員

（事務局）企画部長、企画部次長、まちづくり推進課長、教育委員会教育部埋蔵文化財センター長 ほか3名

（傍聴者）0名

【会議結果】

1 会長・副会長選任

会長に小林大二委員、副会長に廣島潤子委員が選任された。

2 議事録概要の公開について

本審議会の発言内容を要約した会議概要を作成し、市ホームページにて公開することについて、承認された。

3 議事

千歳市景観計画（素案）について

上記の事項について、事務局案のとおり計画策定手続きを進めていくことが決定された。

【会議における意見及び質疑応答等】

千歳市景観計画（素案）について

【委員】

議案P49の景観形成基準における木竹の植栽又は伐採の基準について、方法（1）に「植栽又は伐採は必要最小限の規模とするよう努めること」と記載されている。伐採のみではなく、植栽も極力控えるという理解でよいか

【事務局】

議案P49は、景観重点区域における景観形成基準となる。景観重点区域となっている史跡キウス周堤墓群及びその周辺の緩衝地帯においては、保全を目的としており、伐採のみではなく植栽も必要最小限とするという理解で問題ない。

その他

【事務局】

委員の皆さまにおいては、千歳市景観計画検討会議から景観計画について議論していただき、素案という形で取りまとめていただいてことに感謝申し上げます。

今回の計画策定後は、史跡キウス周堤墓群について、本計画をもとに、保全等の取り組みを推進していきたいと考えている。

令和3年5月26日にユネスコの諮問機関であるイコモスより、「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、世界遺産登録が妥当であると勧告された。

この勧告をもって、7月下旬からフランスにおいてオンラインで開催される世界遺産委員会が開催され、この会議で改めて世界遺産登録の審議が行われる予定であり、議決されれば世界遺産になることとなる。

当該史跡の保護、保全に努めていきたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いしたい。

【委員】

審議会で審議していただきたいというわけではなく、委員の皆さまに情報提供させていただきたい件がある。

景観に直接関係するものではないと思うが、実は千歳市にも「支笏湖ユースホテル（旧館）」という歴史的建造物がある。

この建築物は、有名な建築家である田上義也氏が、全国第1号のユースホテルとして設計したものである。

田上氏は、世界で有名な建築家で、帝国ホテルを設計したフランク・ロイド・ライド氏の弟子であり、北海道に渡り、数々有名な建築物を設計した。

札幌市にも田上氏が設計した建築物があり、札幌市では、それを解体する際に市民活動が起き、募金活動で移築したということがあった。

残念ながら、支笏湖ユースホテル（旧館）は、観光会社が本館を含めて買収し、来年旧館が取り壊される予定であると聞いている。

十数年前に支笏湖ユースホテル（旧館）を保存するため、有志を募り、学識経験者にもご協力いただき、保全へ向けた市民活動を行い、新聞にも掲載していただいたが、残念ながら市民に注視されず、この度の解体というところまで来てしまった。

本審議会で保存に関して議論していただきたいのではなく、このような歴史的建造物が千歳にもあり、来年取り壊されてしまうということを皆さまに知ってほしいと思い、発言させていただいた。